

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年5月15日 (第3回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	堺市 271403
地域名 (地域内農業集落名)	菅生新田地区 (菅生新田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	24.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	0.0 ha
② 田の面積	13.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	10.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.9 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	8.1 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	1.0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・地区の西側には、東区の玄関口である北野田駅があり、北側には美原区役所や大規模商業施設が立地している。
 ・近年は、大規模商業施設への出荷に取り組む経営体もある。
 ・登記上は田が75%で畑が23%であるが、現況は田が55.2%で畑が44.8%である。
 ・自作地が96%(筆数)と農地を所有する経営体による耕作が主となっている。
 ・専業農家はほぼおらず、ほとんどが兼業農家という状況である。
 ・一方、林に隣接する圃場及びアクセスの悪い圃場は、栽培や出荷の作業効率が悪いいため、不耕作化する傾向がみられる。
 ・10年後の農地利用の意向は、自作面積9.50haのほか、貸し出し希望3.24haとなっている。
 ・アンケート調査の結果、地権者単位では、「後継者なし」が24%、「後継者はいるが就農は未定」が46%(面積単位では、「後継者なし」が18%、「後継者はいるが就農は未定」が52%)と後継者不足が顕著であり、新たな耕作者の確保・育成が必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・アクセスが概ね良好な農地は、米・野菜・果物の販売農家を中心に既存の販売ルートを中心に営農を継続していく。
 ・稲作を中心とし、近隣の大規模商業施設と連携しながら、消費者ニーズに見合った作物を栽培する。
 ・南河内環境事業組合資源再生センターの有機肥料や酪農団地の牛糞たい肥等を使用した有機農業へ取組む。
 ・JA大阪南管内であり、堺産だけではなく南河内産の農産物としてのブランディングも可能なため、販売方法を意識して栽培作物の選択を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・効率的に活用できるエリアは、ニーズに従い集積等を進める。接道していない農地については、その改善を検討する。また、管理などの困難な農地は保全・管理も視野に検討を行う。 ・地域と調和、共生できる経営体の参入を促進を検討する。 			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0.4 %	将来の目標とする集積率	0.4 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手への集積・集約化を図る。 			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・利便性が高い農地は積極的に集積等を行う。 ・農地中間管理機構などを活用して、認定農業者をはじめ既存農業者や新規就農者などで、地域と調和、共生できる経営体の参入を促進し、農地の集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
<ul style="list-style-type: none"> ・農業をリタイア、経営転換する経営体は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。 ・担い手の分散錯圃を解消するために利用権を設定・交換する場合は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
(3) 基盤整備事業への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・接道状況が悪い地域の農道整備を行う。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と調和、共生できる経営体の確保・育成を図るため、関係機関と連携し、支援を行っていく。 ・近隣に大きな商業施設ができたことから、稲作を中心としつつも他の作物について南河内地域の有力農家に情報提供や販売支援を求め、地域内外から意欲ある人材の確保・育成をめざす。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・JA大阪南等への農作業委託を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ① 富田林市との境界地域で近年アライグマによる被害が頻発しており、堺市鳥獣被害防止計画に基づく被害防止対策の実施、また、両市で連携した効率的な対策を講ずる。
- ② 南河内環境事業組合資源再生センターの有機肥料(し尿処理由来)や酪農団地の牛糞たい肥の活用。
- ⑦ 耕種農家でマッチングできない農地は、養蜂家との連携に取り組む。
- ⑧ 接道状況が悪い地域の農道整備。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者 ●●●●	-	- ha	0 ha	水稲・野菜	0.11 ha	0 ha	1	
2	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.50 ha	0 ha	水稲・野菜	0.29 ha	0 ha	2	
3	利用者 ●●●●	水稲	0.02 ha	0 ha	水稲	0.02 ha	0 ha	3	
4	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.37 ha	0 ha	水稲・野菜	0.11 ha	0 ha	4	
5	利用者 ●●●●	野菜	0.19 ha	0 ha	野菜	0.23 ha	0 ha	5	
6	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.33 ha	0 ha	水稲・野菜	0.46 ha	0 ha	6	
7	利用者 ●●●●	-	- ha	0 ha	水稲・野菜	0.47 ha	0 ha	7	
8	利用者 ●●●●	水稲	0.05 ha	0 ha	水稲	0.05 ha	0 ha	8	
9	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.10 ha	0 ha	水稲・野菜	0.19 ha	0 ha	9	
10	利用者 ●●●●	水稲	0.05 ha	0 ha	水稲	0.05 ha	0 ha	10	
11	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.15 ha	0 ha	水稲・野菜	0.15 ha	0 ha	11	
12	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.39 ha	0 ha	水稲・野菜	0.39 ha	0 ha	12	
13	利用者 ●●●●	野菜	0.04 ha	0 ha	野菜	0.04 ha	0 ha	13	
14	利用者 ●●●●	野菜	0.28 ha	0 ha	野菜	0.28 ha	0 ha	14	
15	利用者 ●●●●	-	- ha	0 ha	野菜	0.04 ha	0 ha	15	
16	利用者 ●●●●		ha	ha		ha	ha	16	
17	利用者 ●●●●	野菜	0.44 ha	0 ha	野菜	0.44 ha	0 ha	17	
18	利用者 ●●●●	水稲	0.14 ha	0 ha	水稲	0.14 ha	0 ha	18	
19	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.21 ha	0 ha	水稲・野菜	0.21 ha	0 ha	19	
20	利用者 ●●●●	野菜	0.10 ha	0 ha	野菜	0.11 ha	0 ha	20	
21	利用者 ●●●●	野菜	0.04 ha	0 ha	野菜	0.04 ha	0 ha	21	
22	利用者 ●●●●	水稲	0.10 ha	0 ha	水稲	0.10 ha	0 ha	22	
23	利用者 ●●●●	水稲	0.31 ha	0 ha	水稲・野菜	0.42 ha	0 ha	23	
24	利用者 ●●●●	水稲・野菜	1.46 ha	0 ha	水稲・野菜	1.46 ha	0 ha	24	
25	利用者 ●●●●	水稲	0.23 ha	0 ha	水稲	0.23 ha	0 ha	25	
26	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.45 ha	0 ha	野菜	0.39 ha	0 ha	26	
27	利用者 ●●●●	野菜	0.07 ha	0 ha	野菜	0.07 ha	0 ha	27	
28	利用者 ●●●●	野菜	0.05 ha	0 ha	野菜	0.05 ha	0 ha	28	
29	利用者 ●●●●	野菜	0.07 ha	0 ha	野菜	0.07 ha	0 ha	29	
30	利用者 ●●●●	野菜	0.08 ha	0 ha	野菜	0.08 ha	0 ha	30	
31	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.52 ha	0 ha	水稲・野菜	0.52 ha	0 ha	31	
32	利用者 ●●●●	水稲	0.16 ha	0 ha	水稲	0.16 ha	0 ha	32	
33	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.39 ha	0 ha	野菜	0.07 ha	0 ha	33	
34	利用者 ●●●●	野菜	0.29 ha	0 ha	野菜	0.29 ha	0 ha	34	
35	利用者 ●●●●	野菜	0.05 ha	0 ha	野菜	0.05 ha	0 ha	35	
36	利用者 ●●●●	野菜	0.11 ha	0 ha	野菜	0.11 ha	0 ha	36	
37	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.25 ha	0 ha	水稲・野菜	0.25 ha	0 ha	37	
38	利用者 ●●●●	水稲	0.04 ha	0 ha	水稲	0.04 ha	0 ha	38	
39	利用者 ●●●●	水稲	0.06 ha	0 ha	水稲	0.06 ha	0 ha	39	
40	利用者 ●●●●	野菜	0.07 ha	0 ha	野菜	0.07 ha	0 ha	40	
41	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.38 ha	0 ha	水稲・野菜	0.43 ha	0 ha	41	
42	利用者 ●●●●	水稲	0.27 ha	0 ha	水稲	0.27 ha	0 ha	42	
43	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.21 ha	0 ha	水稲・野菜	0.45 ha	0 ha	43	
44	利用者 ●●●●	水稲	0.15 ha	0 ha	水稲	0.26 ha	0 ha	44	
45	利用者 ●●●●	野菜	0.07 ha	0 ha	野菜	0.07 ha	0 ha	45	
46	利用者 ●●●●	野菜	0.16 ha	0 ha	野菜	0.16 ha	0 ha	46	
47	利用者 ●●●●	水稲・野菜	0.31 ha	0 ha	水稲・野菜	0.31 ha	0 ha	47	
48	利用者 ●●●●	野菜	0.08 ha	0 ha	野菜	0.08 ha	0 ha	48	
49	利用者 ●●●●	-	- ha	0 ha	水稲	0.37 ha	0 ha	49	
50	利用者 ●●●●	野菜	0.12 ha	0 ha	野菜	0.12 ha	0 ha	50	